

5 年 1 組		指導者	〇〇〇〇	教科等	算数科
単元	単元名等		速さ		
	目標	評価規準	※どちらかを選択し、 <u>で囲ってください。</u>		
	知識及び技能	知識・技能	◆速さの意味や表し方について理解し、それを求めることができるようにする。 【C(2)ア(ア)】		
	思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現	○速さを比べるのに、時間を一定にしたり道のりを一定にしたりして考え、説明することができるようにする。 ○速さの意味や数直線図をもとにして、道のりや時間を求める式を考え、説明することができるようにする。 【C(2)イ(ア)】		
	学びに向かう力 人間性等	主体的に学習に取り組む態度	○速さの比べ方について、単位量あたりの大きさの学習を生かして考えようとするようにする。 ○身の回りから速さが用いられている場面を見つけるなど、速さの表し方や道のりの求め方などを生活や学習に生かそうとするようにする。		
	単元の学習展開（全7時間）				
	導入	☐ 単元の学習計画を確認し、学習の見通しを持つ。 ・単位量あたりの大きさを用いて、速さの比べ方を考える。			
展開	☐ 数学的活動を通じて、速さ、道のり、時間について理解し、その表し方を考察する。 ・速さ、道のり、時間について理解し、それらを求める。 ・数直線図や速さの意味などをもとに、道のりや時間を求める式を考え説明する。 ・単位が違う速さについて、時速、分速、秒速を相互に変換して、速さを比べる。				
終末	☐ 基本的な学習内容を理解しているか確認し、習熟する。 ・単元の学習で分かったことや大切な考え方、今後の学習に生かせることなどを振り返る。				

本時 （3／全7時間）	ねらい	<u>速さの意味や表し方について、「時間」と「道のり」が異なる2つの新幹線の速さを「単位量あたりの大きさ」の考えを用いて「1時間あたりに走る道のり」で比べたり、「時速」「分速」「秒速」の意味や表し方を確認したりすることにより、「速さ＝道のり÷時間」で表されることを理解し、求めることができるようにする。</u> (下線部…単元の評価規準との関連【◆知・技 評価問題】)	
	学習過程	「めあて」 「速さの表し方を考えよう」 ※本時は『課題』の設定をしていない	
		「振り返り」の視点 ・評価問題を解く ・今日の学習で分かったことや大事だと思ったこと	
	努力を要する状況の児童生	【予想されるつまずき】 ・単位量あたりの大きさの考えを思い出せない。 ・道のり÷時間が速さとなる関係を捉えることが難しい。 ・集中の持続が難しい。	【必要な支援・手立て】 ・単位量あたりの大きさの意味や考え方のポイントをタブレット内で共有し、いつでも振り返ることができるようにする。 ・時計で1分や1秒の量感をつかませ、グラウンドや廊下などの具体物の長さの関係を速さで捉えさせる。 ・プリントの配付など、離席できる場面を設定する。